

気仙沼観光マーケティングレポート(平成 30 年 12 月版)

◆今月のピックアップ

- ・12月の宿泊者数は平成30年で最低となり、同月前年比もマイナスとなったが、物販施設、観光施設は好調に推移し、それぞれ同月前年比を上回った。特に観光施設は128.9%となっている。
- ・駅前観光案内所の利用者数が同月前年比198.3%と倍増した。これは12月がJR東日本の大人の休日倶楽部パスの設定期間となったことに加え、JR東日本の新幹線車内誌12月号で市内の飲食店が紹介されるなどしたため、鉄道を利用した観光客が増加したことが要因である。駅前にある観光案内所の特性がよくわかる結果となった。

1. 宿泊

<宿泊施設ピックアップ>

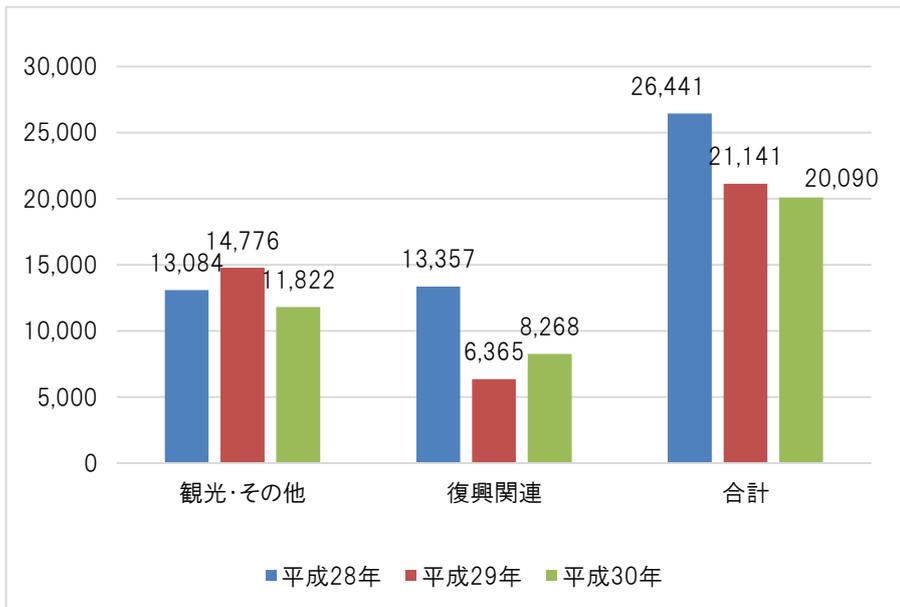
・宿泊者数の同月前年比は「合計」で95.0%と減少した。「観光・その他」が80.0%、「観光」が96.3%、「復興関連」が129.9%となり、「復興関連」の宿泊者増加が目立つ月となった。12月は例年宿泊者数が伸び悩む時期であるが、今年を年間を通じ最も宿泊者数が少ない月となった。宿泊施設からは「月末は帰省客で賑わった」との声が寄せられたほかは、「冬休み、年末年始の利用増を期待したが思うように伸びなかった」など一様に集客の厳しさが窺える反応が寄せられた。

(1) 宿泊者数

① 同月前年比

(単位:人)

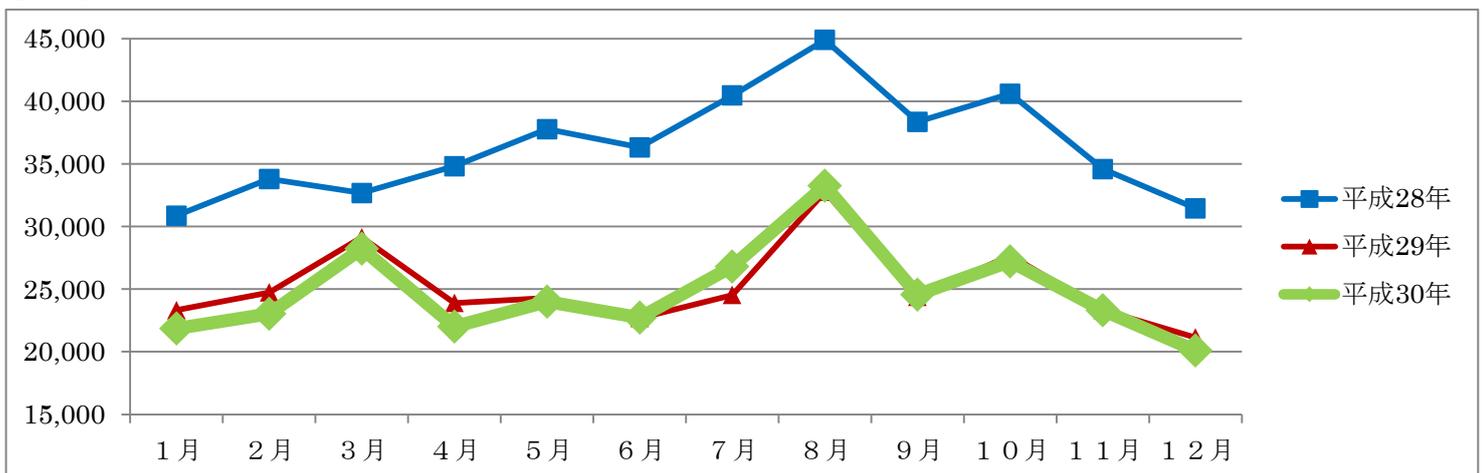
(単位:人)



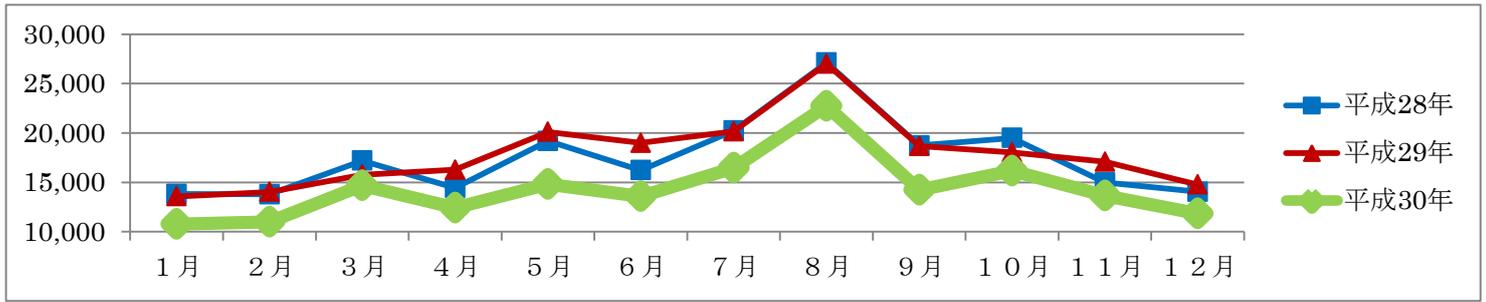
宿泊者数	平成28年 (12月)	平成29年 (12月)	平成30年 (12月)
観光・その他	13,084	14,776	11,822
(観光)	10,557	7,237	6,972
(その他)	2,527	7,539	4,850
復興関連	13,357	6,365	8,268
合計	26,441	21,141	20,090

※平成29年より「その他(主に復興事業以外のビジネス客)」の項目を増やし調査しています。

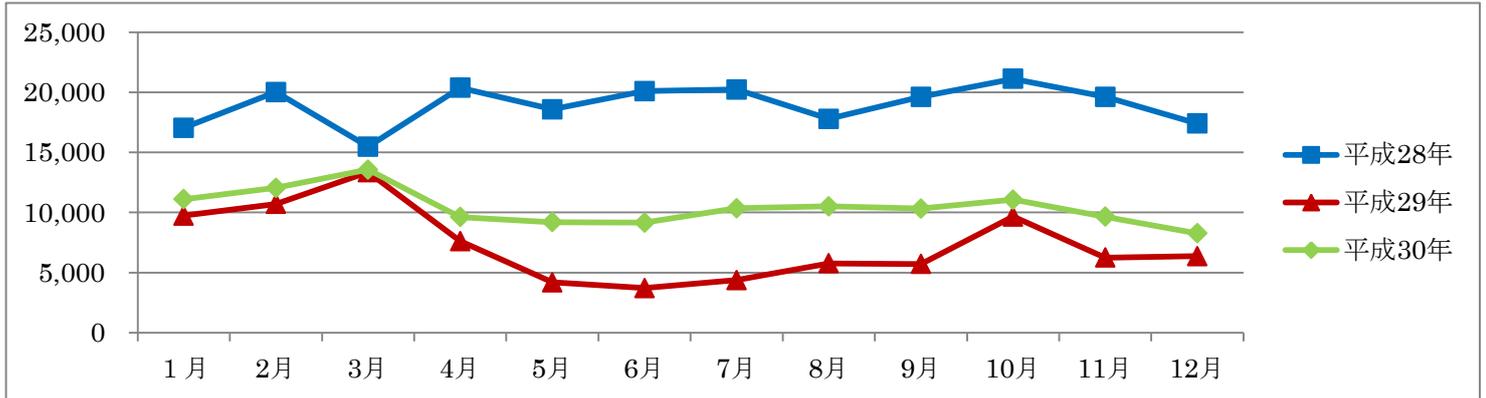
② 年間推移(合計)



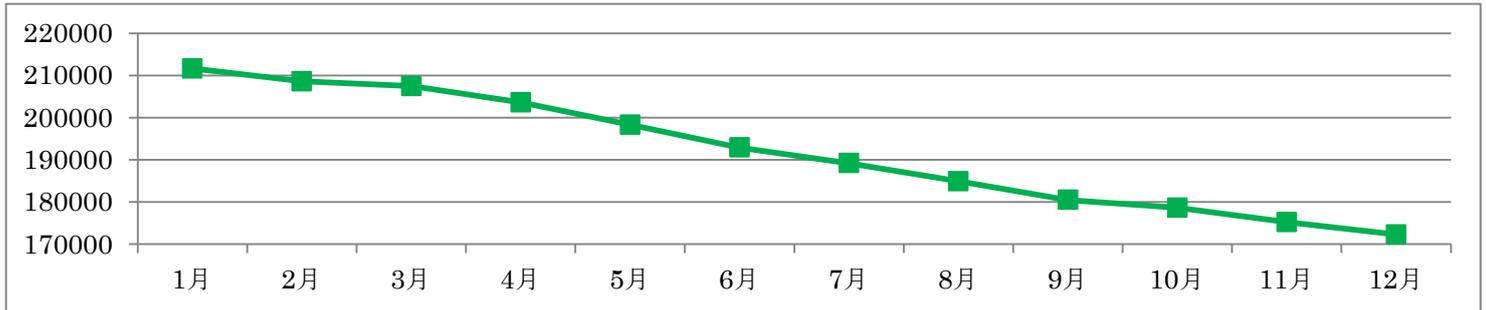
③年間推移(観光・その他)



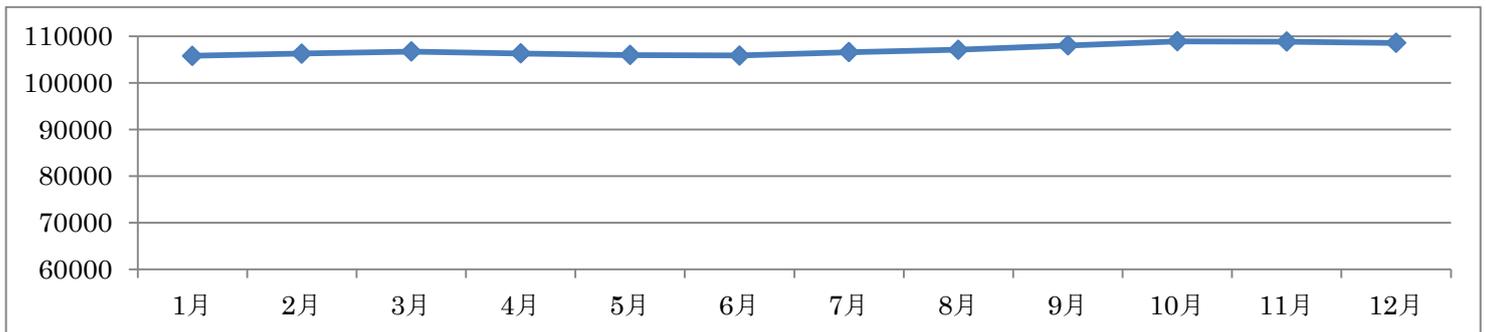
④年間推移(復興関係)



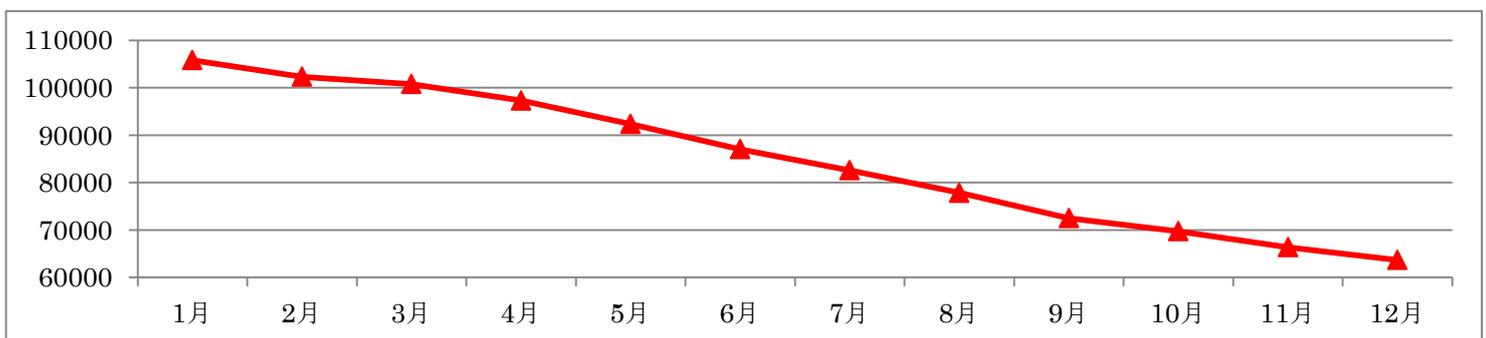
⑤移動年計(観光・その他)



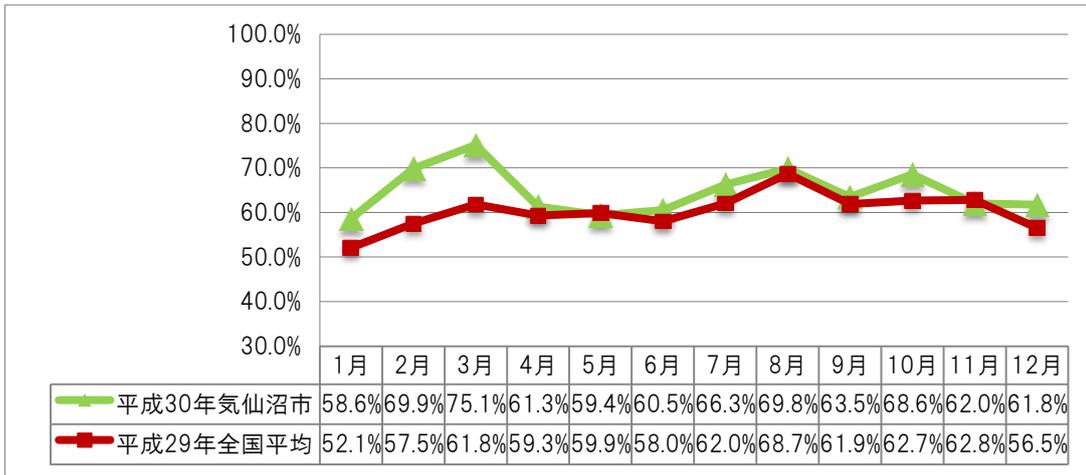
⑥移動年計(観光)



⑦移動年計(その他)



(2)客室稼働率 ※平成 29 年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成 29 年・年間値(確定版))より <<参考データ>>



宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成 29 年 (12 月)
旅館	32.9%
リゾートホテル	53.9%
ビジネスホテル	71.9%
シティホテル	76.0%
簡易宿所	24.0%

2. 物販施設(レジ通過者数)

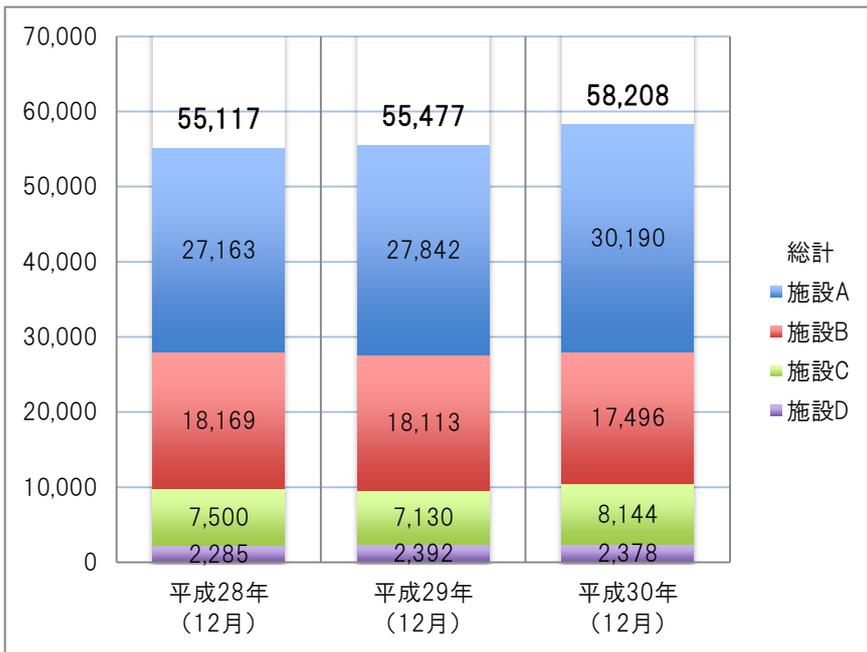
<物販施設トピックス>

・レジ通過者の同月前年比は「合計」で 104.9%と増加した。なかでも施設Aと施設Cは好調で、「施設A」が 108.4%、「施設C」が 114.2%とそれぞれ大幅に増加している。

(1)同月前年比

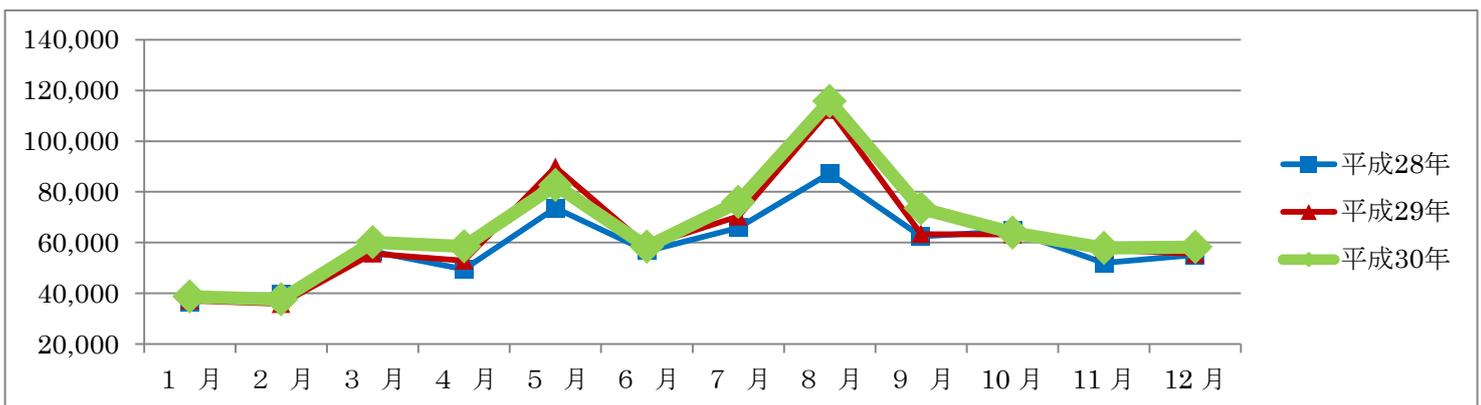
(単位:人)

(単位:人)

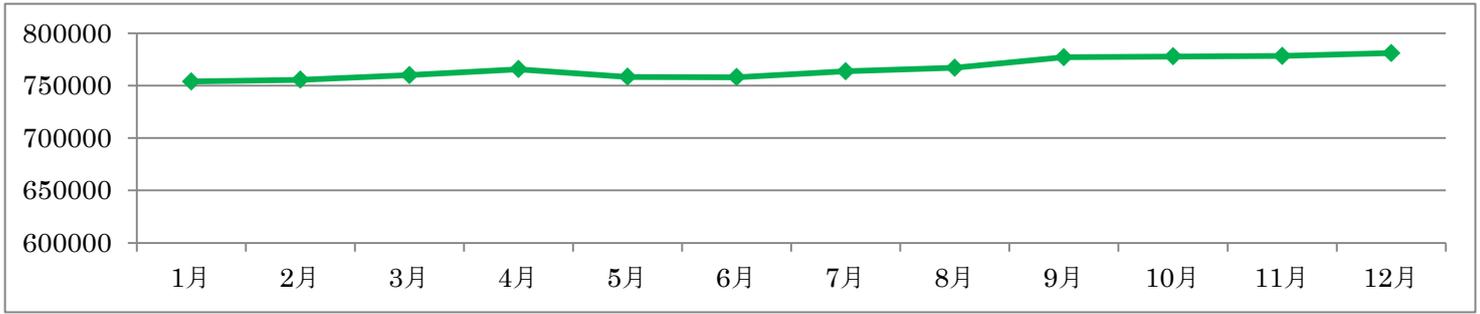


物販施設	平成 28 年 (12 月)	平成 29 年 (12 月)	平成 30 年 (12 月)
施設 A	27,163	27,842	30,190
施設 B	18,169	18,113	17,496
施設 C	7,500	7,130	8,144
施設 D	2,285	2,392	2,378
合計	55,117	55,477	58,208

(2)年間推移



(3) 移動年計



3. 観光施設(利用人数)

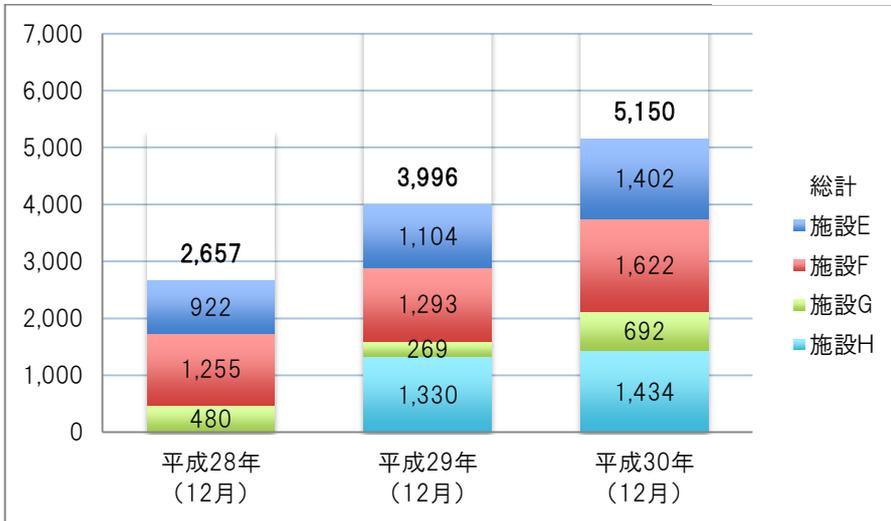
<観光施設ピックアップ>

・利用人数の同月前年比は「合計」で 128.9%と大幅に増加している。特に施設Gは宮城オルレ気仙沼・唐桑コース来訪者の利用もあり 257.2%の大幅増となった。一方で 12 月は例年利用人数が落ち込む季節であり、今年も年間を通じて2番目に低い数字となった。

(1) 同月前年比

(単位:人)

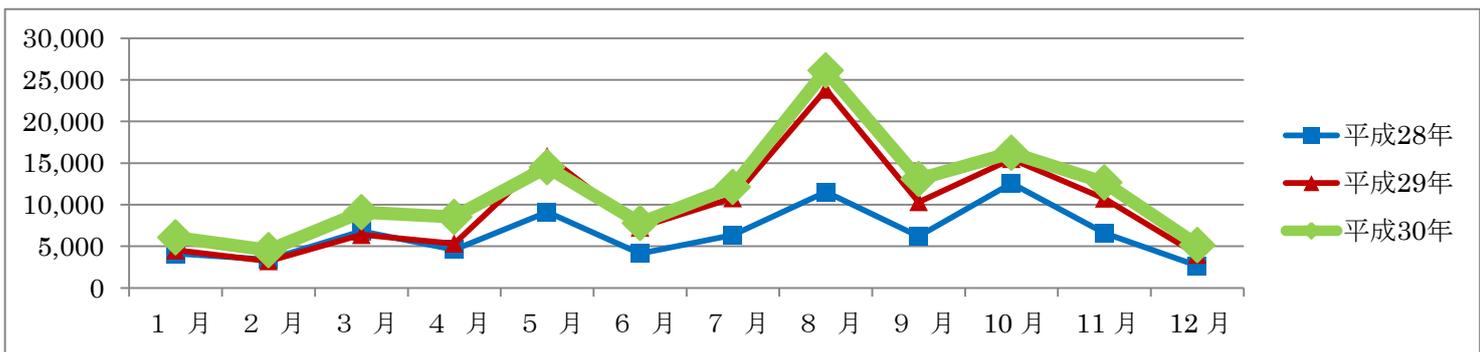
(単位:人)



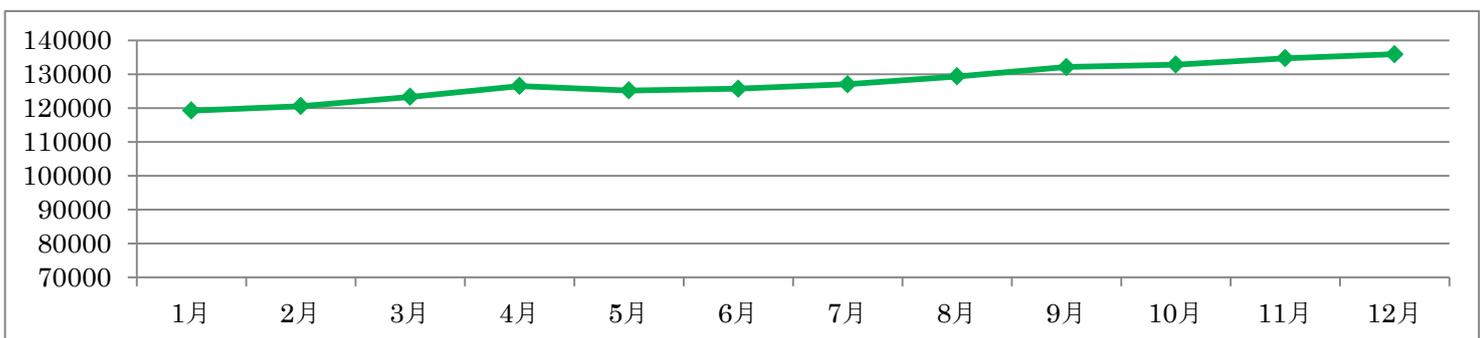
観光施設	平成 28 年 (12 月)	平成 29 年 (12 月)	平成 30 年 (12 月)
施設 E	922	1,104	1,402
施設 F	1,255	1,293	1,622
施設 G	480	269	692
施設 H		1,330	1,434
合計	2,657	3,996	5,150

(2) 年間推移

(単位:人)



(3) 移動年計



4. アクティビティ体験

<アクティビティ体験トピックス>

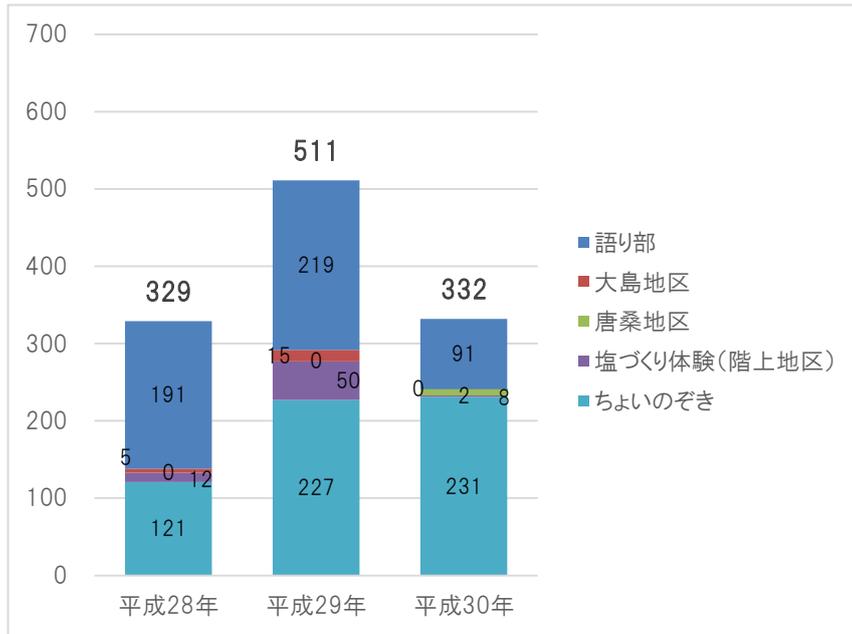
・11月の同月前年比は「体験人数」で65.0%、「体験金額」で78.6%と大幅に減少している。なかでも語り部の減少が大きく「体験人数」が41.6%、「体験金額」が41.3%となった。これは団体の受け入れが減少したことが大きく影響している。また大島地区や唐桑地区、階上地区などの体験は、この時期は教育旅行の受け入れがほとんどであり、その有無によって大きく差が生じている。

(1) 体験人数

① 同月前年比

(単位:人)

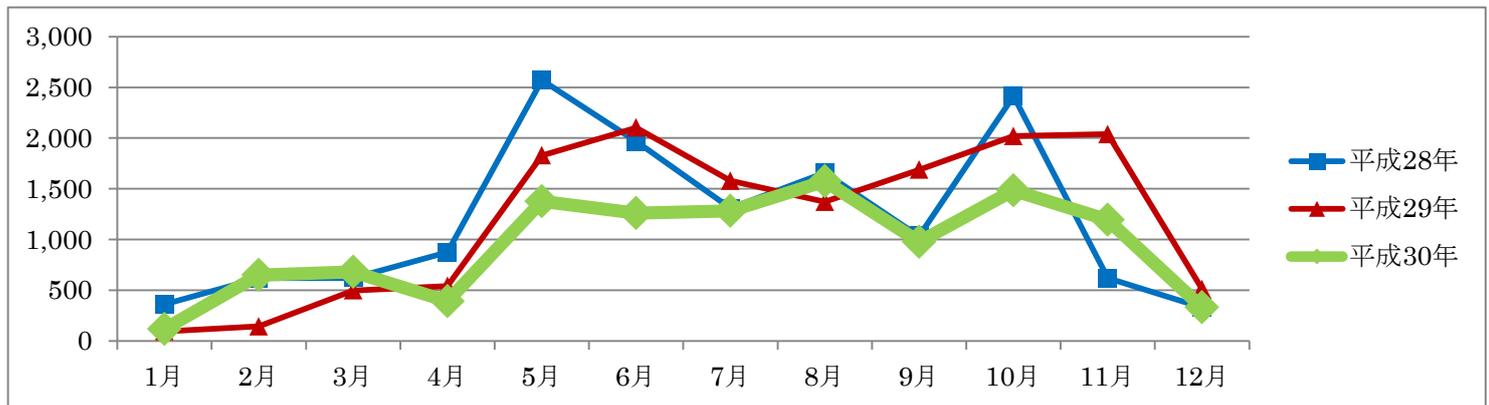
(単位:人)



アクティビティ	平成28年 (12月)	平成29年 (12月)	平成30年 (12月)
語り部	191	219	91
大島地区	5	15	0
唐桑地区	0	0	8
塩づくり体験 (階上地区)	12	50	2
ちよいのぞき	121	227	231
合計	329	511	332

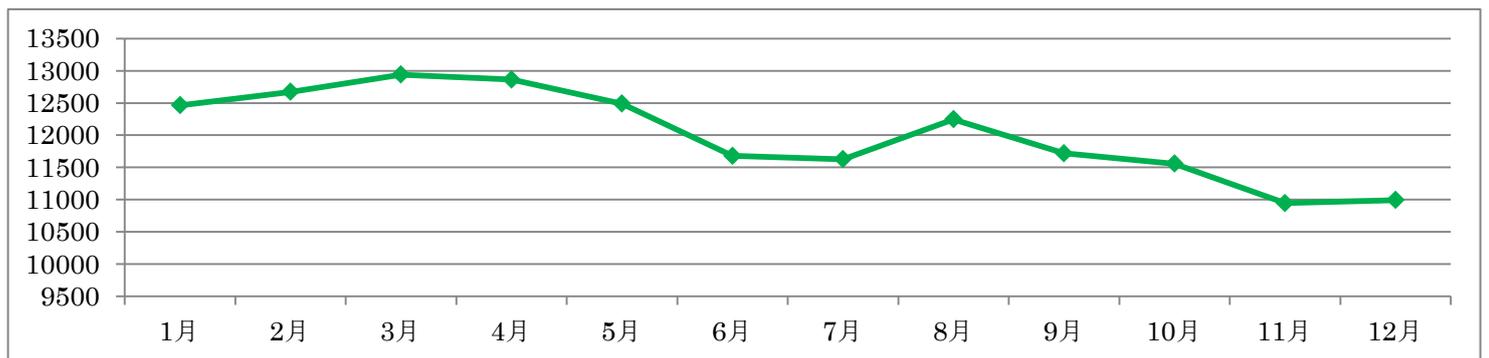
② 年間推移

(単位:人)



③ 移動年計

(単位:人)

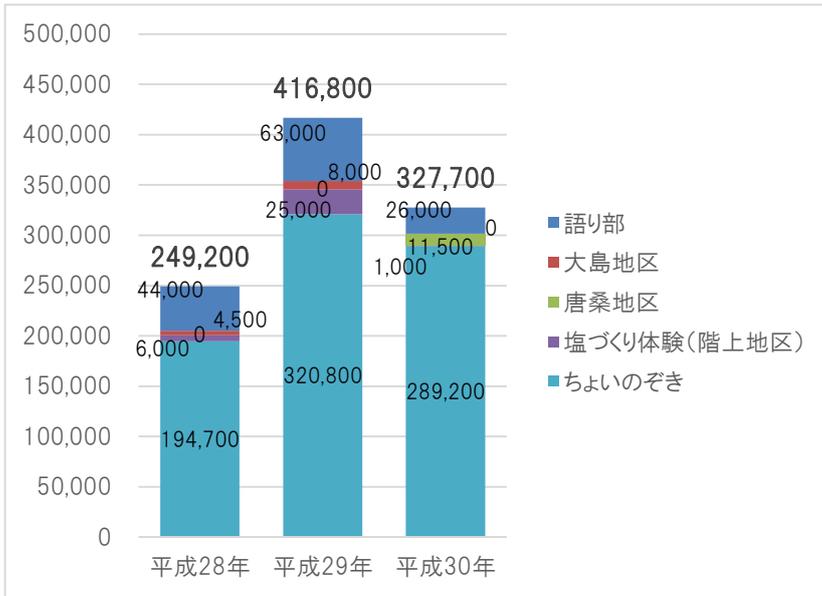


(2)体験金額

①同月前年比

(単位:円)

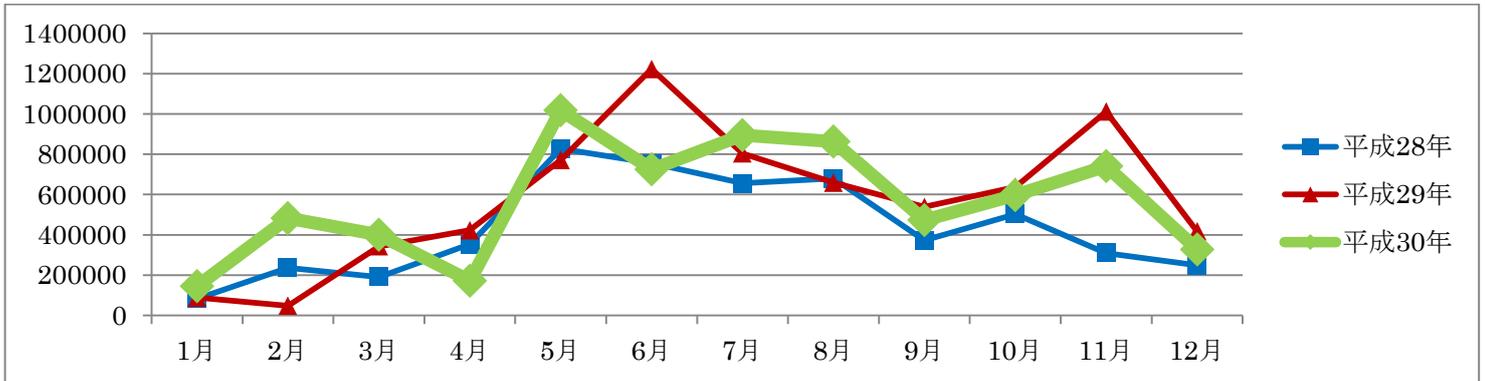
(単位:円)



アクティビティ	平成 28 年 (12 月)	平成 29 年 (12 月)	平成 30 年 (12 月)
語り部	44,000	63,000	26,000
大島地区	4,500	8,000	0
唐桑地区	0	0	11,500
塩づくり体験 (階上地区)	6,000	25,000	1,000
ちよいのぞき	194,700	320,800	289,200
合計	249,200	416,800	327,700

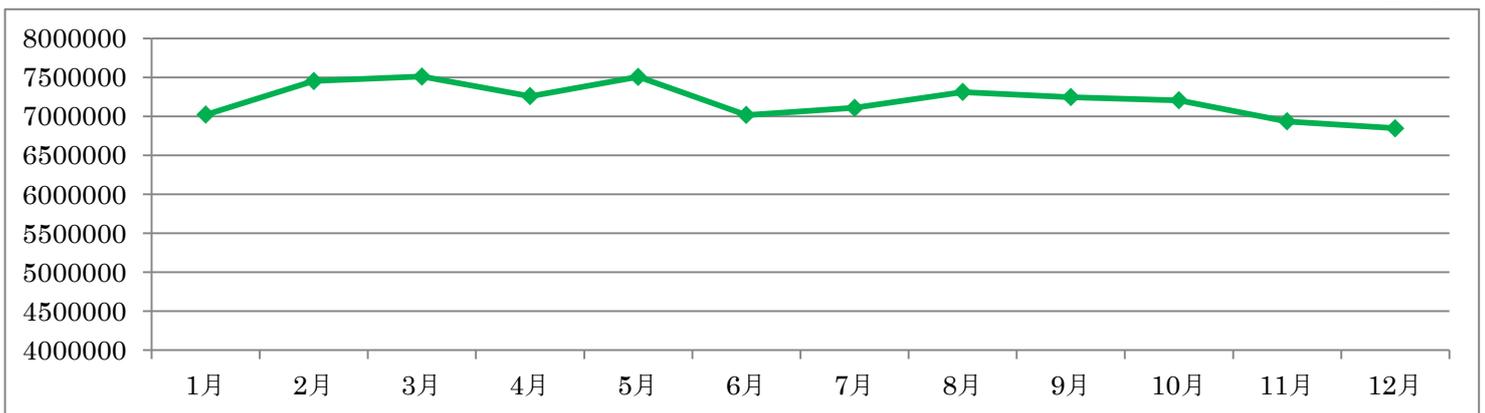
②年間推移

(単位:円)



③移動年計

(単位:円)



5. 観光案内所

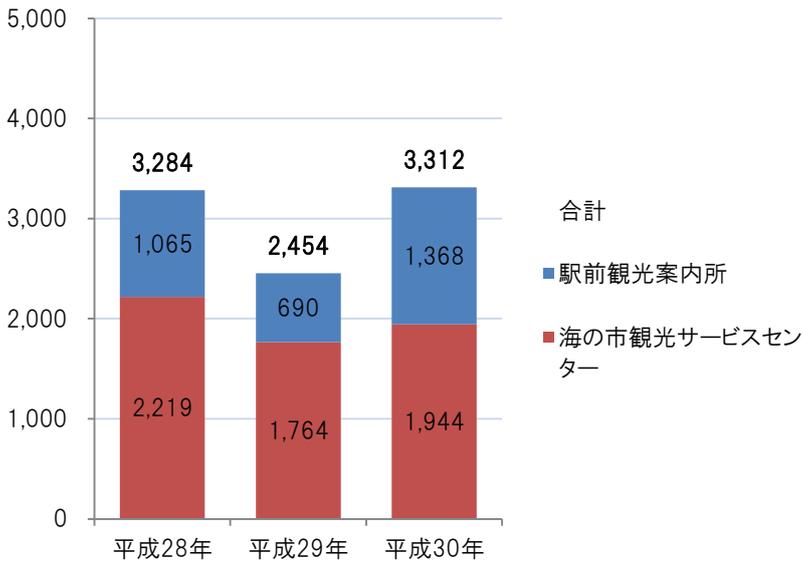
<観光案内所トピックス>

・12月の観光案内所利用人数は同月前年比135.0%と大幅に増加した。特に駅前観光案内所は198.3%と倍増した。これは12月がJRの大人の休日倶楽部パスの設定時期となったことに加え、例年より暖かかったこと、そしてJR東日本の新幹線車内サービス誌「トランヴェール」の旅コラムで市内飲食店が取り上げられたことから、鉄道を利用した観光客が増加したことが要因といえる。海の市サービスセンターは年の瀬の利用が多く30、31日が山となった。

(1)利用人数(同月前年比)

(単位:人)

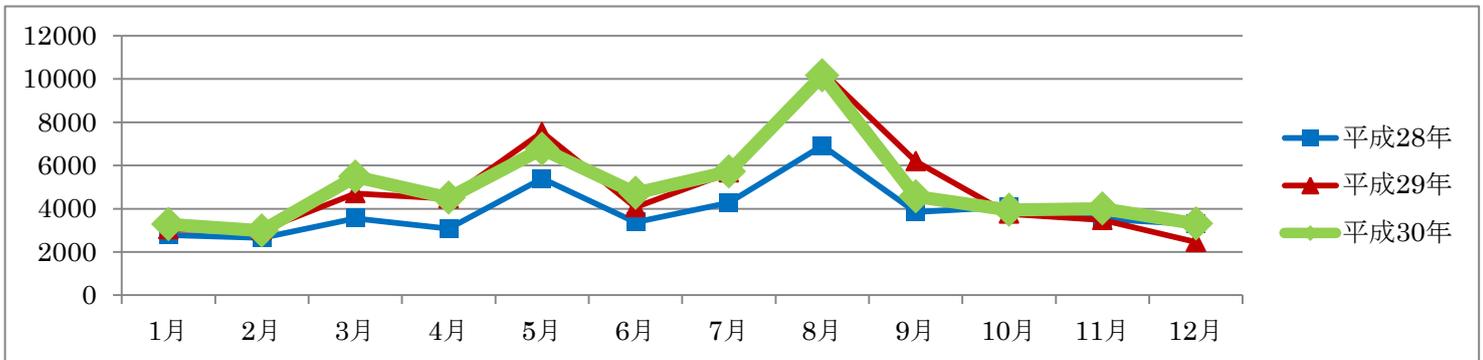
(単位:人)



観光案内所	平成28年 (12月)	平成29年 (12月)	平成30年 (12月)
駅前観光案内所	1,065	690	1,368
海の市観光サービスセンター	2,219	1,764	1,944
合計	3,284	2,454	3,312

(2)同年間推移

(単位:人)



(3)移動年計

(単位:人)

